

## || 編集後記 ||

富山大学人文学部比較文学コースは、毎年、社会で活躍する意欲的な人材を輩出する伝統あるコースです。大阪大学や早稲田大学など比較文学コースのある大学からの紀要の寄贈も年々増えており、富山大学でもぜひ紀要を出そうということになりました。若き研究の途にある志あふれる院生や学生の論文が集まり、第一号が発刊される運びになりました。

編集委員会では二〇〇七年度卒業生の長谷川朋子さん、長江弘一さん、野首南帆子さん、宮川園望さん、舘弥歩さん、修士課程一年生の今村郁夫さん、修士課程二年生の錦織なな子さんの論文を掲載することに決定しました。寄稿いただいた皆さんに感謝申し上げます。

研究室の入り口には小川未明の碑文

「雲の如く高く 雲のごとくかがやき 雲のごとくとらわれず」  
という拓本が掲げられています。

「富大比較文学」が「雲」のように世界観や文学観を広げ、深めていける一助になることを願ってやみません。今後の発展に向けて、さらに精進していきたいと存じます。ご意見、ご批評をぜひ富大比較文学会にお寄せいただきますれば幸いです。

(金子 幸代)

## 富山大学比較文学会会則

第一条 この会は富山大学比較文学会と称し、事務所を富山大学人

文学部比較文学・比較文化研究室（富山県富山市五福三一九〇）に置く。

第二条 この会は会員相互の協力により、比較文学・比較文化研究を進めることを目的とする。

第三条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 研究発表会、公開講演会などの開催。
- 2 機関誌、会報などの刊行
- 3 その他、会の目的を達成するために必要と認められる事項。

第四条 この会の設立の趣旨に賛同する富山大学比較文学・比較文化の教員および在学生、院生、卒業生、修了生をもつて会員とする。この他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもつて会員とする。

第五条 前条の会員は一般会員および維持会員をもつて組織する。

### 富大比較文学 第一集

二〇〇八（平成二〇）年十一月十一日発行

編集人 富山大学比較文学会編集委員会

発行人 富山大学比較文学会

代表 金子幸代

発行所 富山大学人文学部比較文学・比較文化研究室

富山県富山市五福三一九〇

〇七六―四四五―六一九二（研究室 直）